

テネリグリプチン(商品名：テネリア®)の腎保護効果に関する研究

1. 研究の対象

2017年6月14日時点でテネリグリプチン(商品名：テネリア®)20mgを1日1回内服されている患者

2. 研究目的・方法

当院で2017年6月14日時点でテネリグリプチン(商品名：テネリア®)20mgを1日1回内服されている患者141名から調査期間中に糖尿病治療薬が変更となった患者、検査値が得られない患者、透析患者を除外した37名の患者を対象とし、年齢と性別、テネリグリプチン(商品名：テネリア®)の投与開始時から0ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後のHbA1c、尿蛋白、eGFRの値とその併用薬の種類を調査することで、テネリグリプチン(商品名：テネリア®)に腎保護効果があるのかを調査することを目的とする。

調査項目は年齢と性別、テネリグリプチン(商品名：テネリア®)の投与開始時から0ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後のHbA1c、尿蛋白、eGFRの値とその併用薬の種類。この研究では患者さんのカルテから抽出した情報を使用する。検定方法としてHbA1c、eGFRはpaired t検定、尿蛋白はフリードマン検定を用い、有意確率0.05未満で有意差があると判断する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液検査

4. 期間

平成29年7月14日～平成29年7月23日

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 病棟業務係長 山中知恵子

-----以上